

大和高田市農業委員会だより

発行

平成22年12月1日

大和高田市農業委員会

Tel 22-1101(代)

秋 桜 こすもす

農地の有効利用を進めるため

農地の利用状況調査を行っています

わが国の食料の「自給力」を強化するため農地面積の減少を食い止める必要があり、昨年の農地法改正により農地の所有権や賃借権等を有する者は適正かつ効率的な利用をしなければならない責務が明確化されました。今ある農地を耕作放棄地にせず有効に利用するためにも担い手への貸出し等を積極的に進めております。また農地を農地以外のものに転用するときは農業委員会への申請が必要です。無断で転用された場合の処分・罰則も強化されましたので、農地に関する手続きはその都度農業委員、または農業委員会事務局までご相談下さい。



キッズ農園



わったーランド

ごあいさつ

大和高田市農業委員会

会長 水井 豊



農家の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本市農業委員会活動に格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、今年の夏は猛暑が長引き、野菜類の栽培には大変苦労されまた水稻は未成熟米が多く収穫量も等級も落ちた不作の苦労続きの一年であった事と存じます。また最近ではT P P 関税撤廃が取り沙汰され、農作物の価格の下落が非常に懸念されるところであります。農家にとってはますます厳しい状況下におかれるものと思われます。農業委員会としては、食料自給率アップに向けて農地をこれ以上減らすことなく有効に活用し、担い手の高齢化がますます進んでいく本市の現状に何らかの方策を講じなければならないものと痛切に感じております。本市では以前より農業の新規参入者のための研修制度を実施しております。しかし農業での生計安定は難しく新たな担い手の確保はなかなか難しいものと予想されます。専業農家の育成も行いつつ、非農家の方々の有効的な参入をも模索しつつ本市の状況に対応した担い手の確保に努めて参りたいと存じます。任期もあと半年余りとなりましたが、農業者の声を直接お聞きし反映させるべく農業者の代表、パイプ役としての役割を果たし、地域に密着した活動を行って参る所存でございますので、農業委員会活動にご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成22年 農業委員会活動報告

毎月1回 農業委員総会・農地部会現地調査

1月 農業農村生き生きセミナー

2月 担い手育成推進大会 大和の農業開発大会
奈良県都市農業委員会現地研修会

3月 遊休農地解消活動推進研修会
農業会議通常総会

5月 全国農業委員会長大会（東京）
奈良県都市農業委員会連絡協議会総会

6月 農地部会 葛城農業推進協議会総会

7月 農業会議通常総会 人権学習 農地部会
農業委員研修会 農地利用状況調査（市内全域）

8月 農業会議通常総会

遊休農地解消活動推進研修会

9月 農業委員会現地研修会（桜井方面）

10月 奈良県農業委員大会

11月 農地利用状況調査（追跡調査）

奈良県都市農業委員会現地研修会

12月 全国農業委員会代表者集会（東京）



農業委員会



奈良県農業委員大会

農業委員会処理案件件数

平成22年1月～11月

農業委員会では毎月の総会で次の案件を審議しています。

3条	委員会許可	9件	10,925㎡
	知事許可	10件	9,281㎡
4条	転用許可	3件	825㎡
	転用届	6件	4,867㎡
5条	転用許可	12件	8,470㎡
	転用届	10件	5,569㎡
18条	合意解約通知	24件	24,020㎡
	施行規則該当転用	1件	198㎡
	利用権設定	22件	23,997㎡
	畑作転換申請	5件	2,614㎡

農地のままでの売買・賃借等（市内）

農地のままでの売買・賃借等（市外）

所有者が転用する場合（市街化調整区域）

所有者が転用する場合（市街化区域）

転用するため売買・賃借等を行う場合

（調整は許可・市街化は届出）

小作権の解約

農業用施設等の転用

小作権を付けずに貸し借り等

田に土を入れて畑に形状変更

農地を転用・売買等される場合は、農地法の許可が必要です。

申請等は毎月25日締め切りです。

詳しくは農業委員会事務局まで





現地視察

に行ってきました

9月11日桜井市や明日香村の直売所・農業公園 卑弥呼の庄を視察。運営の問題点や客の集客方法等いろいろな現場での苦労点などを具体的にお聞きし高田市での今後の直売所の運営方法などの参考となりました。



盛況でした！

★ やまとたかだ元気ウィーク★

農産物品評会

11月14日に産業会館でやまとたかだ元気ウィークの行事で恒例の農産物品評会が開催されました。今年は異常だった夏の暑さのせいか昨年より出品数が若干へりましたが、そんな中でも立派に育てられた農作物732点（野菜484点花卉20点果樹102点穀物125点その他1点）が出品されました。出品者の福引き、各JAのバザー、軟弱野菜部会、花卉部会の即売等もあわせて行われ大変盛況でした。品評会の表彰は午後1時から行われ下記の皆さんが表彰を受けられました。また、出品物も午後2時半から販売され、早くから並ばれ心待ちされたお客様が競って購入されていました。



農産物即売会場

福引き会場

品評会会場



受賞者の皆さん

奈良県知事賞	松塚 速水 善幸(小松菜)
大和高田市市長賞	今里町 當麻 安義(ほうれん草)
奈良県議会議長賞	曾大根 藤川 光政(ネギ)
大和高田市議会議長賞	松塚 上田 喜章(シロナ)
農林水産省近畿農政局奈良農政事務所長賞	田井 前田 全計(キクナ)
奈良県中部農林振興事務所長賞	勝目 林 晃(金時人参)
大和高田市農業委員会長賞	今里町 吉村 光晴(きゅうり)
奈良県農業協同組合理事長賞	秋吉 吉川 一男(きゅうり)
葛城農業推進協議会長賞	野口 石田 隆志(白菜)
奈良県農業協同組合信用営農経済センター所長賞	出 福島 博(さつまいも)
奈良県農業協同組合高田支店長賞	松塚 井學 寛(柿)
奈良県農業協同組合陵西支店長賞	大谷 西川 秀雄(大根)
奈良県農業協同組合天満支店長賞	秋吉 森本 輝雄(里芋)

授賞式



知事賞

加入しませんか？

方ならどなたでもご加入頂けます！

績により受給額が決まる積立方式の確定拠出型年金です。

国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳
業者や配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。

高6万7千円まで千円単位で自由に設定できます

歳前に亡くなった場合でも死亡一時金として遺族が受け取れます

料控除の対象になり所得税、住民税の節税になります。

農

①

②

③

④

⑤

⑥ 担い手には手厚い政策支援(保険料の国庫補助)

60歳まで20年以上加入することが見込まれる者(条件有)に国からの保険料助成(政策支援)を受けることが出来ます。

詳しくはお近くの J A ・ 農業委員会まで

農地の所有権や耕作権を相続された場合は

(許可を受ける必要のない権利取得)

農地法の改正により許可を受ける必要のない権利取得をされた場合も農業委員会に届出なければ
ならなくなりました。相続等の際は必ず農業委員会に届出下さい。

選挙人名簿登載申請書

は忘れず提出お願いします。

来年7月は農業委員の統一選挙が行われます。選挙の投票権は登載申請書に記入された方しか
ありませんので、資格のある方は必ず申請書に記載のうえ農業委員会までご提出下さい。

農家支部の方は支部長を通じ平成23年1月10日までに提出下さい。

選挙資格等につきましては農業委員会までお問い合わせ下さい。



農業経営と暮らしの情報がいっぱい

全国農業新聞 を読みましょう

○発行日／毎週金曜 ○購読料／月額600円(送料込)

○申し込み／市農業委員会 または農業委員へ

編集後記

今年の夏は異常に暑く人間の脱水症状のみなら
ず米まで暑さにやられてしまうとは…。人にも
農産物にも厳しい一年でした。どうか来年は…。

